

第九回家畜感染症学会学術集会

家畜を薬剤耐性から守る

開催案内

会期 2019年12月6日(金)～7日(土)

会場 北海道大学農学部大講堂(本館4階)
〒060-0809 札幌市北区北9条西9丁目
JR「札幌駅北口」から徒歩12分

会費

| (円) | 正会員 | 賛助会員 | 非会員 | 学生 |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 事前登録 | 5,000 | 5,000 | 8,000 | 1,000 |
| 当日登録 | 6,000 | 6,000 | 9,000 | 1,000 |



事前登録・一般口演をHPから受付中!

【締切】事前登録: 11月29日(金)、一般口演: 11月1日(金)

大会長 鈴木 定彦 (北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター)

12月6日(金) 13:00～17:15 (受付 12:00～)

1) 教育講演

●獣医療や環境における薬剤耐性問題の実態とその対策 臼井 優 (酪農学園大学)

2) 推奨研究: 家畜生産現場における抗菌剤使用を考える

●牛呼吸器病(BRDC)における抗菌剤治療の実際～抗菌剤治療ガイドブックを読み解く～ 加藤 敏英 (酪農学園大学)

●牛乳房炎の診断と治療の考え方～薬剤耐性を考慮した効果的な治療法を模索して～ 河合 一洋 (麻布大学)

●養豚管理獣医師が目指す抗菌剤使用の対応 伊藤 貢 (あかばね動物クリニック)

●養豚場における抗菌薬使用低減への取り組み 高橋 佐和子 (高橋とんとん診療所)

●総合討論

3) 意見交換会(18:00～20:00)

サントリーズガーデン 昊 (そら)、参加費: 4,500円

12月7日(土) 9:00～16:30 (受付 8:30～)

1) 第8回学術集会最優秀学術賞紹介

●投薬方法と飼養環境の見直しによる養豚場の抗菌剤使用量低減 遠矢 良平 (宮崎県農業共済組合)

2) 一般口演(演題募集中): 一般口演登録締切: 11月1日(金)

3) ランチョンセミナー: エランコジャパン株式会社

●牛コクシジウム症予防におけるジクラズリル製剤の活用 松田 敬一 (宮城県農業共済組合)

4) シンポジウム: 牛の異常分娩と分娩事故による感染症を科学する

●子牛の感染症対策は分娩から 加藤 肇 (北海道ひがし農業共済組合)

●牛の分娩に伴う子宮内および膣内感染 - その病態が受胎性に及ぼす影響 大澤 健司 (宮崎大学)

●子牛が病気になる前に～今日から現場でできること～ 宿澤 光世 (根室農業改良普及センター)

●総合討論

5) 2018年度学会活動報告

6) 第9回学術集会最優秀学術賞発表ならびに表彰式

問合せ

家畜感染症学会HP(問合せページ): <https://sv23.plus-server.net/~kachiku/postmail/postmail.html>

家畜感染症学会事務局(佐藤 礼一郎) E-mail: request@kachikukansen.org

